

熊本地震を風化させないために 境町の支援はまだ続きます!!

ふるさと納税代理受付による支援

被災した熊本県に代わり、全国に先駆けてふるさと納税での支援金の代理受付、事務手続きの代行業務を行い、4月16日から30日までの15日間で、約1億1,000万円の支援金を集めました。

また、境町の取り組みが波及し、その後46の自治体がふるさと納税での代理受付を行い、全国から約14億円以上の支援金が集まっています。



▲境町の取組は多くのメディアで取り上げられました

チャリティーゴルフ大会の開催



熊本県出身のプロゴルファー古閑美保さんをゲストへ迎え、47組175名の参加のもと、チャリティーゴルフ大会を開催しました。

古閑プロのサイン入りグッズなどのチャリティーオークションも行われ、参加者の皆さんから多くの支援金が集まりました。

「ふるさと納税」や「道の駅さかい」で熊本県の商品を活用



▲ふるさと納税の返礼品として熊本産の馬刺しやお米を活用



▲道の駅さかいでは熊本産のお菓子を販売

熊本産の馬刺しや、熊本産のお米などを境町のふるさと納税の返礼品として活用しています。また、道の駅さかいにおいても、熊本応援フェアとしてブースを設け、熊本産のお菓子などの販売を行っています。

熊本市への災害対応職員の派遣

9月26日から30日の5日間、熊本市商業金融課へ5名の境町役場職員を派遣し、被災した事業所の建物被害調査業務などを行い熊本市を支援します。



◀境町役場税務課 小野 博章 係長
「熊本市の迅速な復旧・復興へ向けて少しでも皆さんのお力になれるよう精一杯頑張ってきます。」



▲町長への出発報告の様子



1億1,180万円を熊本県へ



▲蒲島都夫熊本県知事(写真右)へ目録を手渡す橋本町長(写真左)と古閑美保さん(写真中央)



被災地熊本へ
支援金を届けました!!

境町では、熊本復興支援として、様々な支援活動を行っています。そんな取り組みの一端をご紹介します。

RAPID RECOVERY
迅速な復興へ向けて
継続した支援を

8月10日(水)、熊本県庁において、熊本県へのふるさと納税の代理受付や、古閑美保さんをゲストに迎えたチャリティーゴルフ大会等を通して集まった支援金、1億1,180万円を橋本町長、古閑美保さんらが、蒲島熊本県知事へ届けました。

現在、熊本県の災害復興は始まったばかりで、迅速な復興へ向けての今後の課題は、時間経過によるボランティアの減少や、他のニュースなどによって熊本地震が風化してしまいうことです。境町では、熊本地震を風化させないためにも、継続的な支援が大切だと考え、今回届けた支援金以外にも、ふるさと納税の返礼品や道の駅さかいにおいて、熊本産の商品を活用したり、熊本市へ災害対応職員5名を派遣するなど、様々な角度から継続的な支援を行っています。